

エンジニアリングシンポジウム 2023

完 了 報 告 書

一般財団法人エンジニアリング協会

2023年のエンジニアリングシンポジウム(10月20日開催)は、昨年に引き続き、一ツ橋ホールでのリアル開催と並行して、オンラインでも配信する「ハイブリッド」形式で開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行後の開催であったこともあり、会場参加者数は昨年より約60名増加しました。

今回のシンポジウムでは、初の試みとして講演資料をすべて電子媒体で事前配布し、アンケートはQRコードを利用して講演中でも回答できるようにしました。また一ツ橋ホールのホワイエにて、2022年度エンジニアリング功労者表彰受賞のパネル展示を行いました。更に、4年ぶりに酒類の提供を伴う交流会を開催しました。

アンケートでは、シンポジウム全体の評価として、「非常に良かった」と「良かった」の評価を合わせて、97%の方から肯定的な評価を頂くことができました。また、講演資料のペーパーレス化については、約80%の方から肯定的なコメントを頂くとともに、エンジニアリング功労者表彰受賞のパネル展示については、会場参加者の約66%の方にご覧いただくことができました。

以下に2023年のエンジニアリングシンポジウムの概要を報告します。

概要写真(午後の部)



講演Ⅰ 富士通(株) 武田シニアエバンジェリスト



講演Ⅱ 立命館大学大学院 小川教授



講演Ⅲ ファナック(株) 山口代表取締役社長・CEO



会場全景



テーマ:変革の時代 ~エンジニアリングが未来を照らす

概要写真(午前の部、協会挨拶、全景など)



(株)大林組 木村様



大成建設(株)長尾様



エンジニアリング協会 石倭 理事長 挨拶



司会 前野専務理事



会場全景

概要写真



エンジニアリングシンポジウム 2023 会場
日本教育会館



日本教育会館入口



受付の様子



2023 年度エンジニアリング功労者表彰
パネル展示会の案内



2023 年度エンジニアリング功労者表彰パネル展示会



交流会

4年ぶりに飲食を伴う交流会を、日本教育会館9階の喜山倶楽部にて開催。多くの会員が参加し、交流を深めた。



坂田実行委員長(東洋エンジニアリング(株)
執行役員)による挨拶



石倭理事長による乾杯



来賓の経済産業省 製造産業局長 伊吹様によるご挨拶



交流会会場の様子

ENAA 一般財団法人エンジニアリング協会

エンジニアリングシンポジウム 2023

変革の時代 ～エンジニアリングが未来を照らす

【2022年度】 エンジニアリング 功労者表彰 プロジェクト	10:30	ラオス ナムニアップ1水力発電所建設プロジェクトの紹介	
	11:05	株式会社大林組 札幌支店 土木工事部 部長	木村 隆之
	11:10	新阿蘇大橋工事（渡河部）プロジェクト ～ 熊本地震からの早期復旧に向けた取組み ～	
	11:45	大成建設株式会社 土木本部 土木設計部 橋梁設計室 課長	長尾 賢二

12:50 協会挨拶 石倭 行人 (一般財団法人エンジニアリング協会 理事長)

講演Ⅰ

デジタルの力で未来を拓く
～ テクノロジーがもたらす社会の変革 ～

13:00 ～ 14:15

富士通株式会社
シニアエバンジェリスト

武田 幸治



講演Ⅱ

アフリカにおけるリープフロッグ型発展と
デジタル・インフォーマル経済の進展

14:30 ～ 15:45

立命館大学大学院 先端総合学術研究科
教授

小川 さやか



講演Ⅲ

製造現場での産業用ロボットの活用と
スマートファクトリの実現に向けて

16:00 ～ 17:15

ファナック株式会社
代表取締役社長 兼 CEO

山口 賢治



17:30 ～ 19:00 交流会 同会館9階「喜山倶楽部」

2023.10.20 FRI

会場

日本教育会館 一ツ橋ホール

(会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催)

主催：一般財団法人エンジニアリング協会 / 後援：経済産業省

来場者限定・会場後方ホワイエにて同時開催
2023年度 功労者表彰 受賞 パネル展示

同時中継
オンライン配信

PDU / CPU
ポイント取得可能

学生限定
無料ご招待
(交流会は除く)

1. はじめに

43 回目を迎えた今年のエンジニアリングシンポジウムは、経済産業省をはじめ多くの関係者や会員企業のご支援とご協力のもと、広くエンジニアリング産業関係者の参加をいただき、成功裏に終えることができました。まずはご尽力いただきました関係各位に感謝を申し上げます。

今年は、昨年に続き会場とオンライン併用による開催を継続した上で、久々に、会場を自由席として、講演後の交流会についても、通常通りの飲食を伴い開催するなど、コロナ後を見据えたエンジニアリングシンポジウムの在り方を追求した開催となりました。

テーマとしては「変革の時代～エンジニアリングが未来を照らす」を掲げ、DX、GX、Energy Transition などの変革をチャンスとして、エンジニアリングが必ずやその変革に貢献するとの気持ちを込めました。そのテーマに基づき、各界の著名な講師の方々の講演をいただきました。

富士通株式会社シニアエバンジェリスト 武田幸治様からは、参加者が自分のスマホで QR コードから講演者の質問に答える、講演者との双方向の講演手法や、AI アバターによる会話の実演など、その場で見て聴いて分かる形で、ICT や AI の可能性を示していただきました。

立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授 小川さやか様からは、アフリカ・タンザニア滞在によるフィールド・ワークのご経験より、日本人の知る資本主義の枠を超えた、人間関係への投資を大事にする価値観や商売・生き方を語っていただき、新鮮な視点を与えられました。

ファナック株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 山口賢治様からは、同社の沿革や成長の軌跡、山梨に本社を置き生産拠点を国内複数地に置いた経緯、製品のライフに渡る保証サービスを伴う、産業用ロボットや工作機械による、国内外のモノ作りの自動化への貢献を語っていただき、世界のトップメーカーの経営者の想いを直に伝えて頂ける機会となりました。

前年の「エンジニアリング功労者表彰」プロジェクトについては、以下2件の話を伺いました。

株式会社大林組 札幌支店 土木工事部長の木村隆之様からは、「ラオス ナムニアップ1水力発電所建設プロジェクト」にて、3500 名の住民の方の移転を伴うダム工事も含め、一日最大 3200 名の多国籍の現場組織を率いて、世界最高レベルの高速施工と日本流の品質確保を成し遂げた件、および、大成建設株式会社 土木本部 土木設計部 橋梁設計室 課長 長尾賢二様からは、「新阿蘇大橋工事(渡河部)プロジェクト」にて、熊本地震からの橋の早期復旧に向けて、景観も保全しつつ、強風下、通常5年半の工期を無事故・無災害で4年で仕上げた件について、伺いました。

いずれの講演も、エンジニアリング産業の可能性や置かれた環境、および人の生き方について示唆に富む話であり、参加された方々にとって有意義なものとなったと確信致します。「エンジニアリングシンポジウム 2023」が実り多いものとなりましたのも、事務局の方々をはじめとする関係各位のご協力・ご支援の賜物であり、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

2023年11月

一般財団法人エンジニアリング協会
エンジニアリングシンポジウム2023実行委員会委員長
坂田 英二

2. 事業内容

2-1 概要

名 称 : エンジニアリングシンポジウム2023
テ ー マ : 変革の時代 ～エンジニアリングが未来を照らす～
開 催 日 : 2023年10月20日(金)
会 場 : 日本教育会館 一ツ橋ホール
主 催 : 一般財団法人 エンジニアリング協会
後 援 : 経済産業省

2-2 基本計画

本年のシンポジウムの基本計画を以下のとおり設定した。

経緯と概要

エンジニアリングシンポジウムは、多業種に亘るエンジニアリング関係者が、年に一度、一堂に会して交流するイベントであり、この機会にエンジニアリング業界を取り巻くさまざまな課題とその対応について「会員相互間の情報共有の場」として利用するとともに、業界外に向けてエンジニアリング業界の存在意義を発信する場となる。

本年も本方針のもと、午前は 2022 年度エンジニアリング功労者表彰受賞案件のうち抜粋された2件の講演を行い、午後は産業界・学術界で活躍されている有識者をお招きし、聴衆者に取り新たな価値観や視野の広がりが見られる機会となるようプログラムを構成した。

運営については、昨年同様、開催形式は会場もしくはオンラインを選択できるハイブリッド開催とした。5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したことより、同感染症対策を緩和することとし、会場には消毒液・非接触型体温計を設置するものの使用は個人判断に委ね、会場内座席は自由席とした。

今回は、5類移行後の初開催となり、会場参加者数の増加に繋がるよう新たな試みとして、講演会場のホワイエにて 2023 年度エンジニアリング功労者表彰プロジェクト受賞案件をパネル化し展示することとした。なお、昨年オンライン参加のみとした学生については、今年は会場参加も開放することとした。さらに、4年ぶりに飲食を伴う交流会を再開し、会員の交流をさらに推進するものとした。

他に、環境に配慮するため、従来、実施していた講演資料の配布を取り止め、電子化(ペーパーレス化)を促進、アンケートについても QR コードの利用を図るものとした。

2-3 プログラム

エンジニアリングシンポジウム2023プログラム

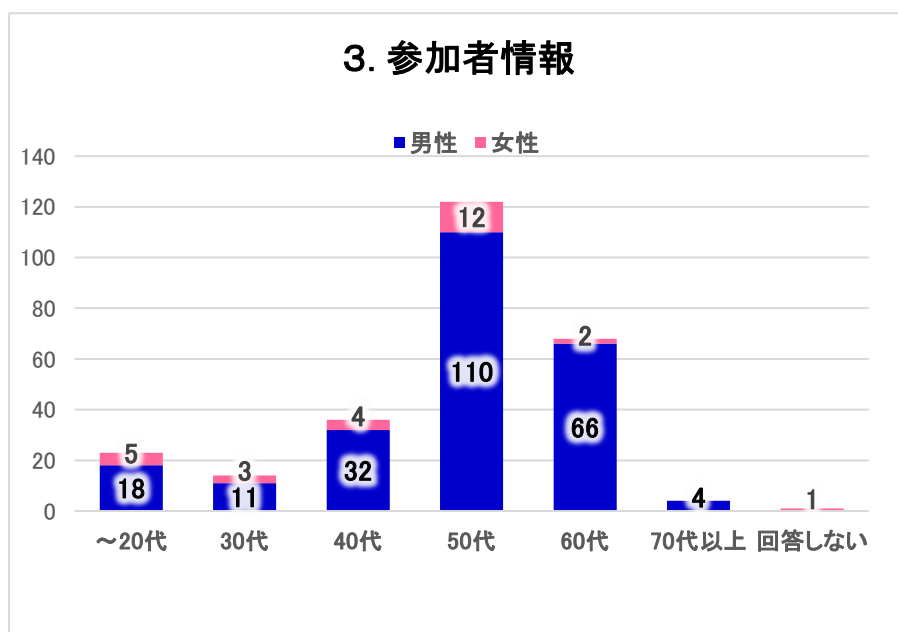
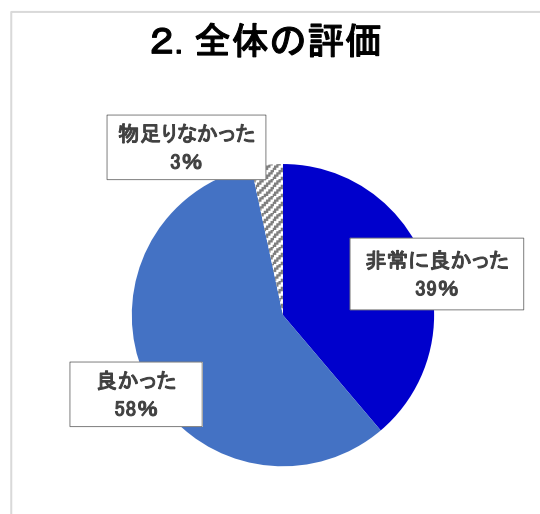
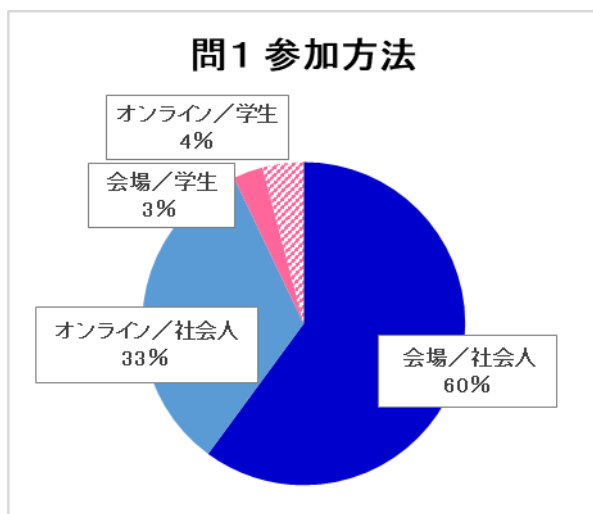
敬称略

※講演はリアルタイムでオンライン配信されます(Zoom ウェビナー利用)。

【午前の部】		一ツ橋ホール(3階)
10:30 (35分) 11:05 (幕間) 11:10 (35分) 11:45	【2022 年度エンジニアリング功労者表彰プロジェクト】 1. 国際貢献: ラオス ナムニアップ1水力発電所建設プロジェクトの紹介 株式会社大林組 札幌支店 土木工事部 部長 木村 隆之 2. エンジニアリング振興: 新阿蘇大橋工事(渡河部)プロジェクト ～熊本地震からの早期復旧に向けた取り組み～ 大成建設株式会社 土木本部 土木設計部 橋梁設計室 課長 長尾 賢二	
(65分)	昼休み	
【午後の部】		一ツ橋ホール(3階)
12:50	【協会挨拶】 一般財団法人エンジニアリング協会 理事長 石倭 行人	
13:00 (75分) 14:15	【講演Ⅰ】	デジタルの力で未来を拓く ～テクノロジーがもたらす社会の変革～ 富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 武田 幸治
(15分)	休憩	
14:30 (75分) 15:45	【講演Ⅱ】	アフリカにおけるリープフロッグ型発展とデジタル・インフォーマル経済の進展 立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授 小川 さやか
(15分)	休憩	
16:00 (75分) 17:15	【講演Ⅲ】	製造現場での産業用ロボットの活用とスマートファクトリの実現に向けて ファナック株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 山口 賢治
(15分)	移動	
17:30 (90分) 19:00	交流会 同会館9階「喜山倶楽部」	

3 アンケート集計結果

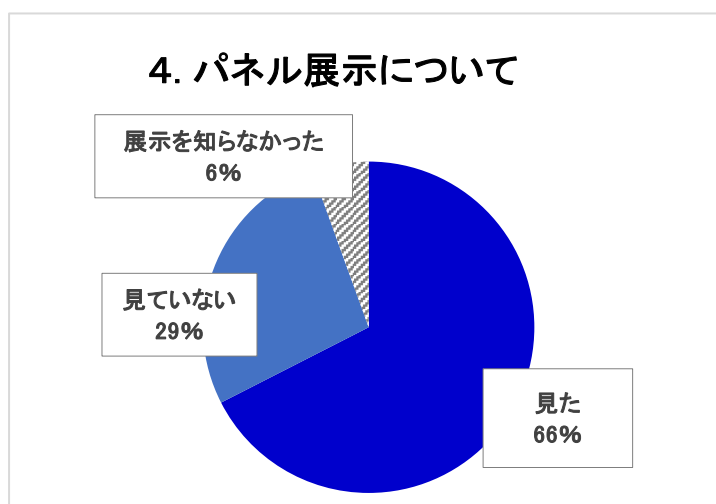
昨年よりも約60名多い268名からの回答を得ることができた。主要な回答を以下にグラフで示す。



1. アンケートにおける参加方法は会場が63%、オンラインが37%。登録ベースでは会場が62%、オンラインが38%と、ほぼ同数であった。

2. 全体の評価は「良かった」以上が97%を占めた。

3. 50代の参加者が46%を占め、次に60代が25%、40代が13%を占めた。女性の参加者割合は昨年とほぼ横ばいで全体の10%であった。



4. 功労者表彰パネルの展示については、展示を見たが66%、見ていないが29%、知らなかったが6%であった。